

公衆浴場（銭湯）の利用に関するアンケート調査
結果報告書
（浴場利用者向アンケート）

平成 21 年 11 月

市立函館保健所

目 次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法	2
3 その他	2
回答者の属性	3
1 年齢構成（問1）	3
2 性別（問2）	3
3 世帯構成（問3）	3
4 居住形態（問4）	4
5 居住地区（問5）	4
調査結果	5
1 自家風呂の有無（問6）	5
2 銭湯への交通手段（問7）	5
3 銭湯までの所要時間（問8）	6
4 銭湯の利用頻度（問9）	6
5 銭湯を利用する時間帯（問10）	7
6 銭湯を利用する主な目的について（問11）（複数回答）	8
7 銭湯の魅力（問12）（複数回答）	9
8 銭湯の入浴料金（問13）	10
9 適正と考える入浴料金（問14）	11
10 銭湯に求めるサービス（問15）【3つまで選択】	12
11 銭湯に対する意見・要望について（問16）	13
資料編	14
1 地区区分	14
2 調査票	15

調査の概要

1 調査の目的

函館市内における公衆浴場（銭湯）の施設数は、自家用風呂の普及による利用者の減少や燃料費の高騰による採算性の低下、設備の老朽化や経営者の高齢化・後継者難により減少の一途を辿り、平成11年の56施設から、平成21年9月現在40施設（旧函館市域での営業施設は38施設）までに減少している。

地域住民の日常生活において、健康の保持および保健衛生上必要不可欠な施設として公衆衛生を支えてきた銭湯の確保に努めることは、行政の責務であることから、今後の銭湯のあり方や活性化に向けた取組みを検討する基礎資料とするため、銭湯に対する市民の意識や利用実態の把握を目的とし調査を実施した。

なお、調査は、旧函館市域に居住する市民を対象としたアンケート調査と、実際に銭湯を利用している市民を対象としたアンケート調査の2つの調査を行った。

本報告書は、実際に銭湯を利用している市民を対象としたアンケート調査結果の報告書である。

参考：銭湯の定義

ここでいう「銭湯」とは、公衆浴場法施行条例（昭和24年1月11日北海道条例第3号）第2条第1号に定める公衆浴場（『普通浴場』という）で、物価統制令（昭和21年勅令第118号）に基づく入浴料金の統制を受ける施設をいう。

公衆浴場法施行条例第2条

普通浴場

温湯又は温泉を使用し、男女各1浴室に同時に多数人を入浴させる施設であって、その利用の目的及び形態が地域住民の日常生活においてその健康の保持及び保健衛生上必要不可欠のものとして使用されるものをいう。

参考：函館市内における銭湯数の推移

(軒数は年度末時点)					
年 度	軒数	許可(件)	廃止(件)	増減(件)	備 考
平成11	56	0	1	1	
平成12	56	0	0	0	
平成13	52	2	6	4	
平成14	50	3	5	2	
平成15	48	0	2	2	
平成16	50	3	1	2	市町村合併
平成17	48	1	3	2	
平成18	45	1	4	3	
平成19	44	2	3	1	
平成20	42	1	3	2	
平成21	40	0	2	2	9月1日現在

2 調査の方法

調査対象者

函館浴場協同組合に加入する30浴場の利用者を対象とした。

調査期間

平成21年8月20日(木)から概ね2週間程度とした。

調査方法

各浴場に50枚の調査票を配布し、浴場利用者が回答した調査票を回収する方法とした。

配布数は、50枚×30浴場=1,500枚に対し、回収は1,253枚となり、回収率は83.5%となった。

3 その他

%表示については、四捨五入のため全体で100%にならない箇所がある。

参考：函館浴場協同組合加入浴場（順不同）

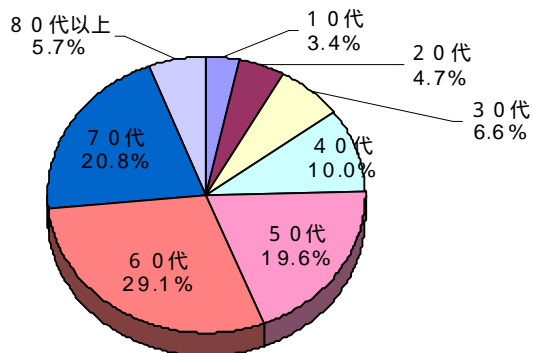
桐の湯，永寿湯温泉，ゆたか湯，根崎湯，昭和湯，港湯，大正湯，
亀田温泉，若松湯，白山湯（弁天町），大黒湯，弥生湯，白山湯（栄町），
大東湯，新川湯，日の出湯，にしき温泉，花園温泉，本通湯，千代の湯，
豊作湯，桜成浴場センター，山内温泉，大盛湯，日乃出湯，松聖湯，
菊乃湯，鍛冶温泉，陣川温泉，北美原温泉（以上30浴場）

回答者の属性

1 年齢構成（問1）

年齢構成を見ると、50代以上の中高年齢層が75%以上となっている。

年齢構成 n=1,253

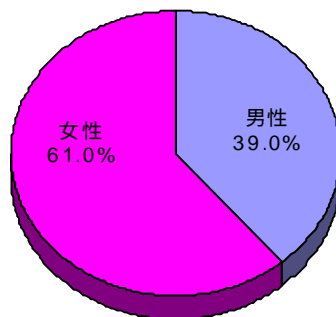


項目	回答数	構成比
10代	42	3.4%
20代	59	4.7%
30代	83	6.6%
40代	125	10.0%
50代	246	19.6%
60代	365	29.1%
70代	261	20.8%
80代以上	72	5.7%

2 性別（問2）

性別は、「男性」が39%、「女性」が61%となっている。

性別 n=1,253

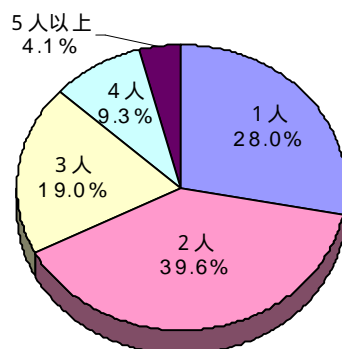


項目	回答数	構成比
男性	489	39.0%
女性	764	61.0%

3 世帯構成（問3）

世帯構成は、「2人」が39.6%と最も多く、同居世帯が全体の72%となっている。また、「1人」の世帯は28.0%となっている。

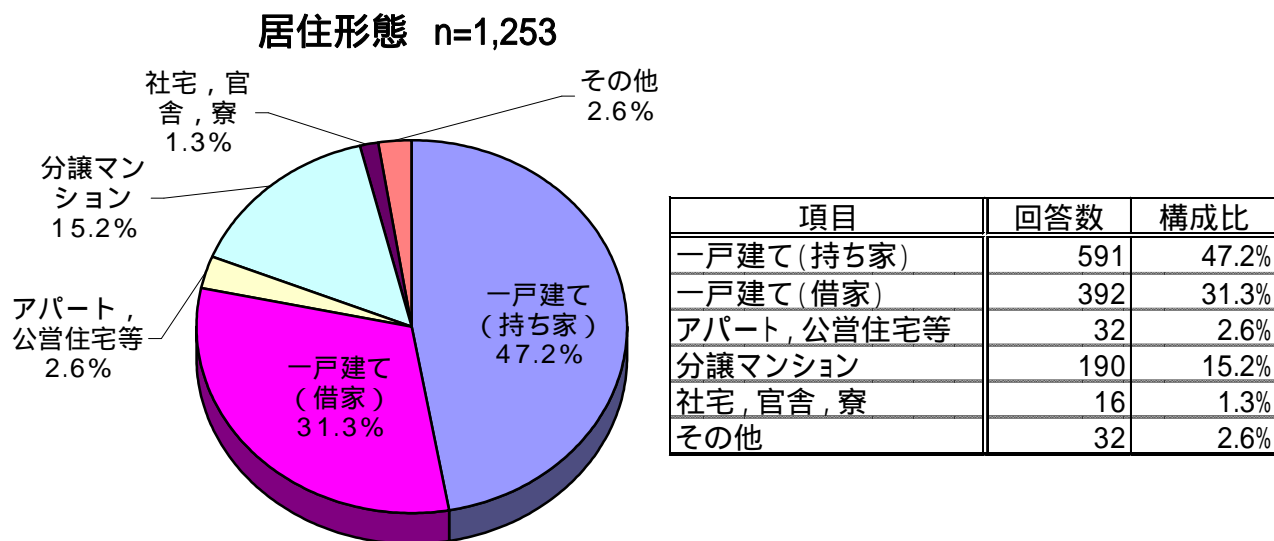
世帯構成 n=1,253



項目	回答数	構成比
1人	351	28.0%
2人	496	39.6%
3人	238	19.0%
4人	117	9.3%
5人以上	51	4.1%

4 居住形態（問4）

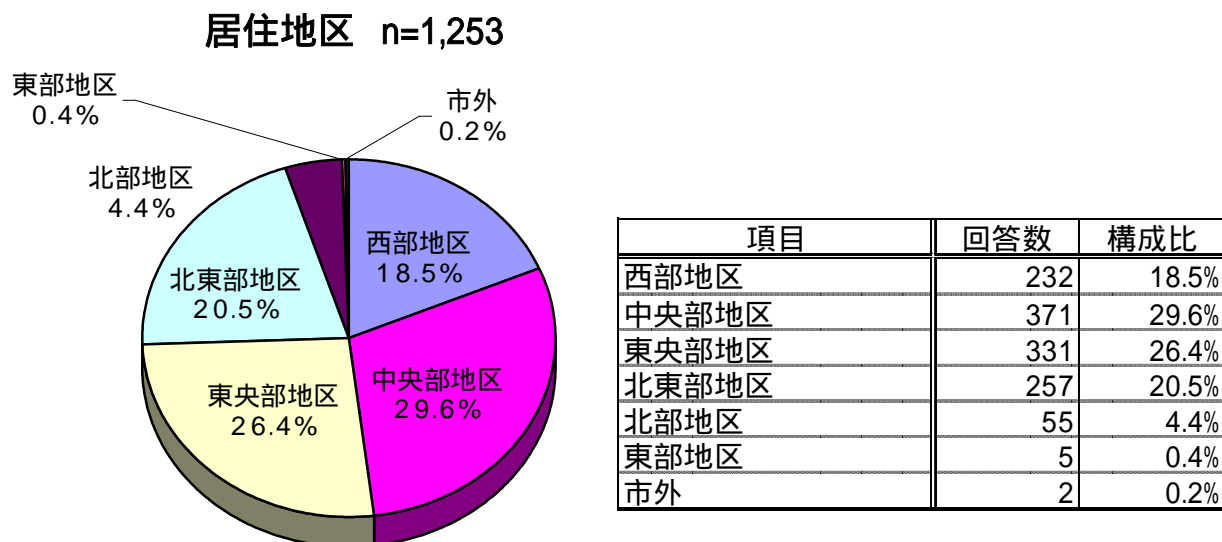
「一戸建て(持ち家)」が47.2%となっており、賃貸住宅との比率はほぼ半々となっている。



5 居住地区（問5）

居住地区は、「西部地区」18.5%、「中央部地区」29.6%、「東中部地区」26.4%、「北東部地区」20.5%などとなっており、「北部地区」および「東部地区」の回答が非常に低くなっている。

函館市内における「地区区分」については 資料編，1地区区分（P14）を参照のこと。

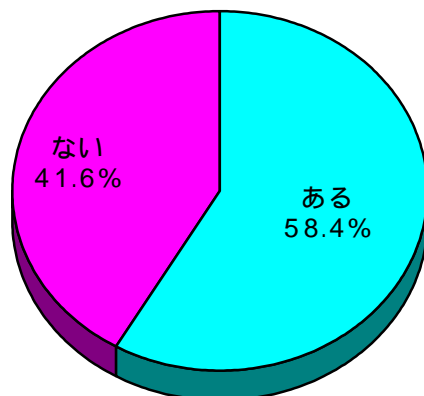


調査結果

1 自家風呂の有無（問6）

自家風呂が「ある」が58.4%、自家風呂が「ない」は41.6%となっている。

自家風呂の有無 n=1,253

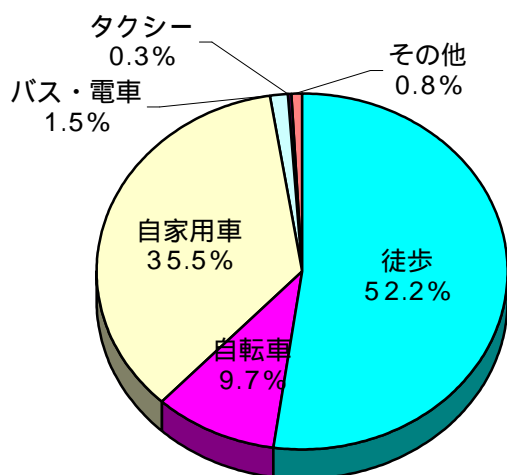


項目	回答数	構成比
ある	732	58.4%
ない	521	41.6%

2 銭湯への交通手段（問7）

銭湯への交通手段は、「徒歩」52.2%、「自転車」9.7%となっており自宅近くの銭湯を利用していることがうかがえる。

交通手段 n=:1,253

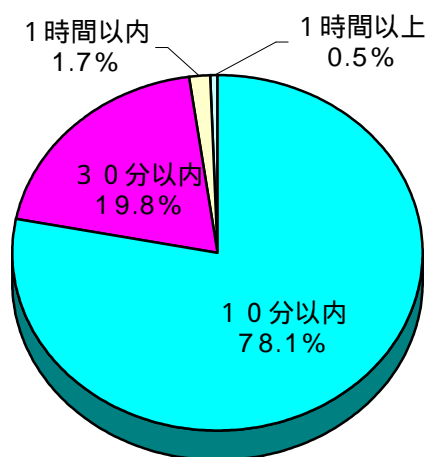


項目	回答数	構成比
徒歩	654	52.2%
自転車	121	9.7%
自家用車	445	35.5%
バス・電車	19	1.5%
タクシー	4	0.3%
その他	10	0.8%

3 銭湯までの所要時間（問8）

所要時間は、「10分以内」78.1%、「30分以内」19.8%、「1時間以内」1.7%、「1時間以上」0.5%となっている。

銭湯までの所要時間 n=1,253

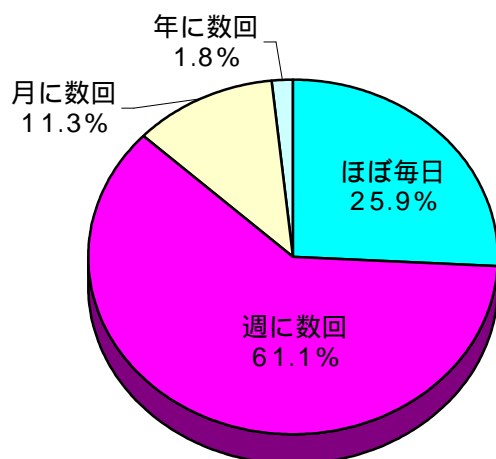


項目	回答数	構成比
10分以内	978	78.1%
30分以内	248	19.8%
1時間以内	21	1.7%
1時間以上	6	0.5%

4 銭湯の利用頻度（問9）

利用頻度は「ほぼ毎日」25.9%、「週に数回」61.1%、「月に数回」11.3%、「年に数回」1.8%となっている。

銭湯の利用頻度 n=1,253

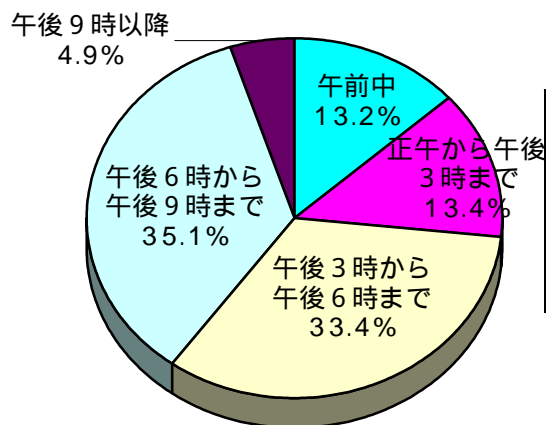


項目	回答数	構成比
ほぼ毎日	325	25.9%
週に数回	765	61.1%
月に数回	141	11.3%
年に数回	22	1.8%

5 銭湯を利用する時間帯（問10）

利用する時間帯は、「午前中」13.2%、「正午から午後3時まで」13.4%、「午後3時から午後6時まで」33.4%、「午後6時から午後9時まで」35.1%、「午後9時以降」4.9%となっている。

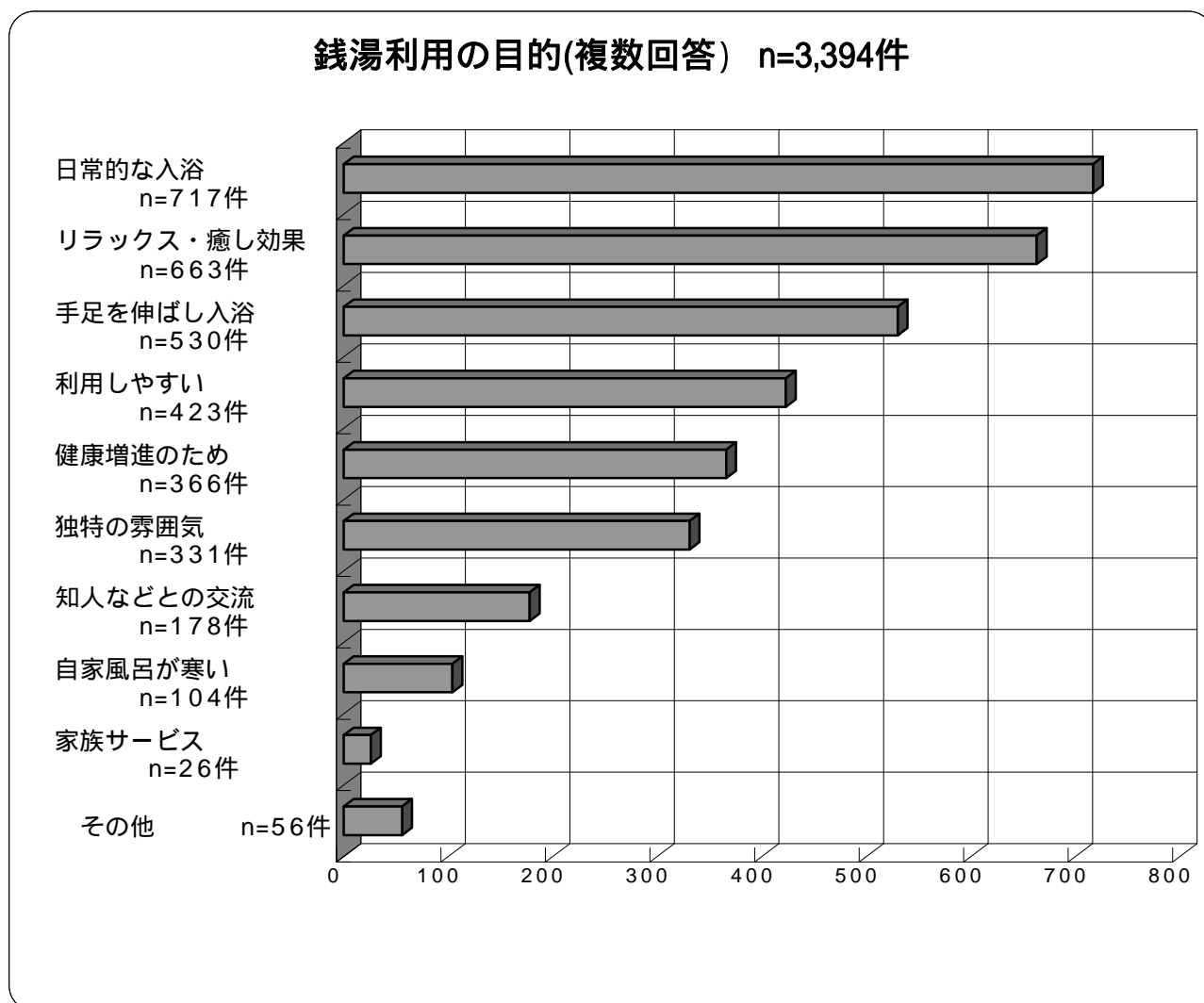
利用時間帯 n=1,253



項目	回答数	構成比
午前中	166	13.2%
正午から午後3時まで	168	13.4%
午後3時から午後6時まで	418	33.4%
午後6時から午後9時まで	440	35.1%
午後9時以降	61	4.9%

6 銭湯を利用する主な目的について（問11）（複数回答）

銭湯を利用する主な目的は、「日常的な入浴」が717件と最も多く、次いで「リラックス・癒し効果」が663件、「手足を伸ばして入浴できる」が530件となっている。

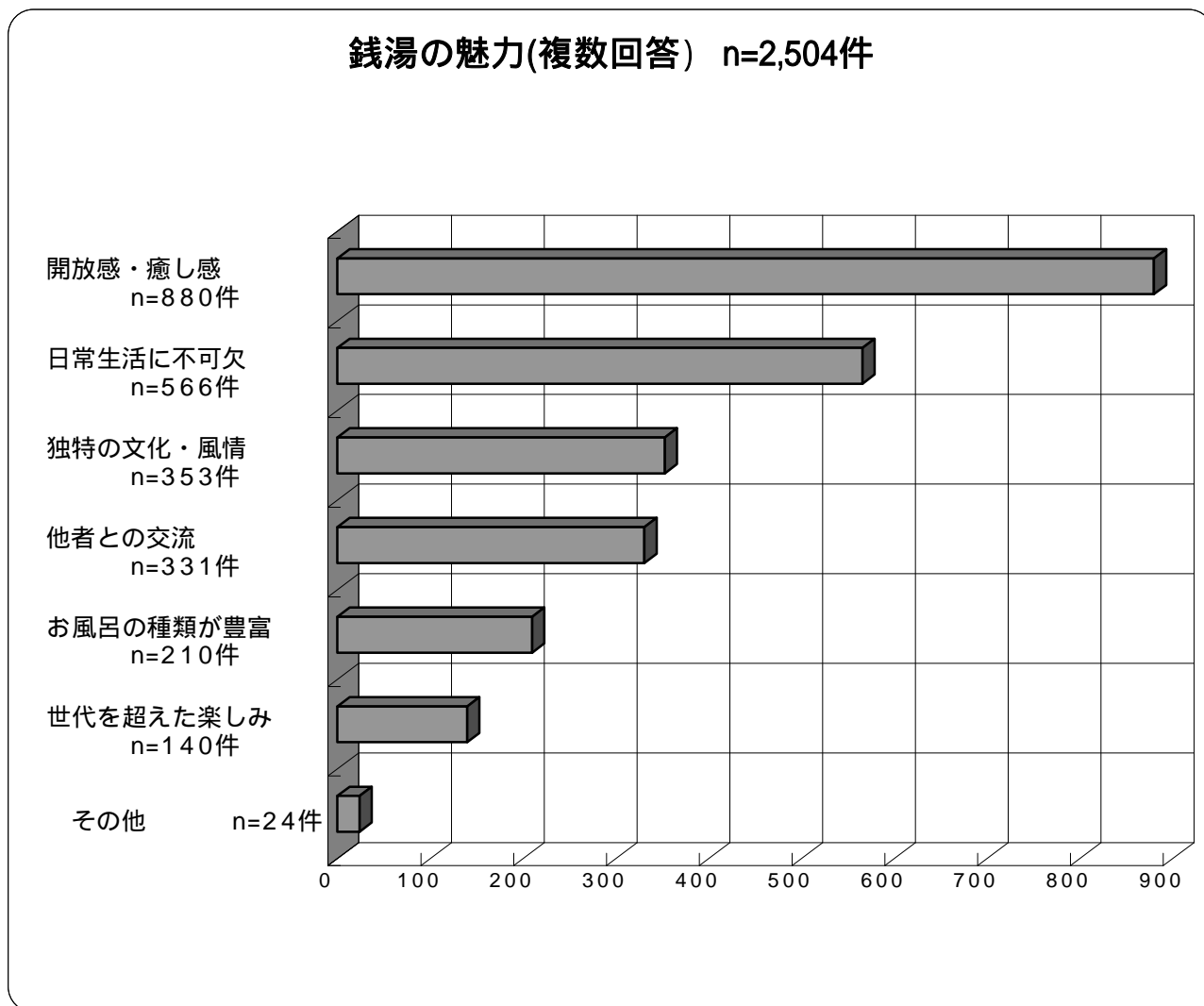


また、「その他」56件の回答は以下のようになっている。

回答内容(要旨)	回答数
自宅に風呂がないから	14
温泉だから(泉質が良いから)	9
サウナを利用したいから	7
節約のため	3
自宅の風呂掃除が面倒だから	2
その他	21
計	56

7 銭湯の魅力(問12)(複数回答)

銭湯の魅力についてたずねたところ、「開放感、癒し感」が880件と最も多く、次いで「日常生活に不可欠」が566件、「独特の文化・風情」353件となっている。

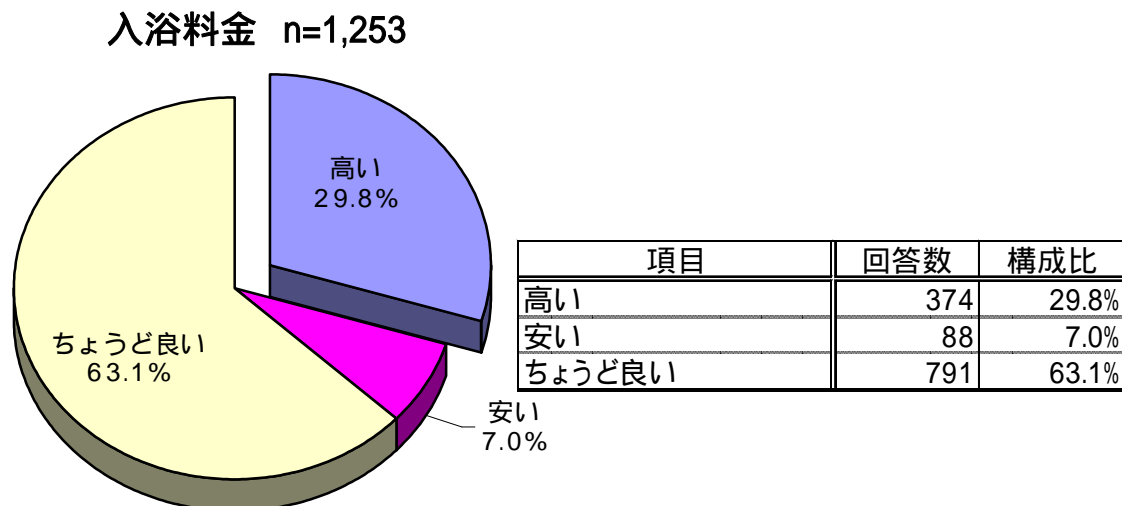


また、「その他」24件の回答は以下のようにになっている。

回答内容(要旨)	回答数
サウナ・露天風呂	10
ゆったり感	5
泉質・湯量	4
その他	5
計	24

8 銭湯の入浴料金（問13）

現在，北海道における公衆浴場入浴料金統制額（上限額）は420円と定められ，実際の入浴料金の設定については各公衆浴場の判断に委ねられているが，利用者が調査票を記入した銭湯における入浴料金の設定についてたずねたところ，「高い」29.8%，「安い」7.0%，「ちょうど良い」63.1%となっている。

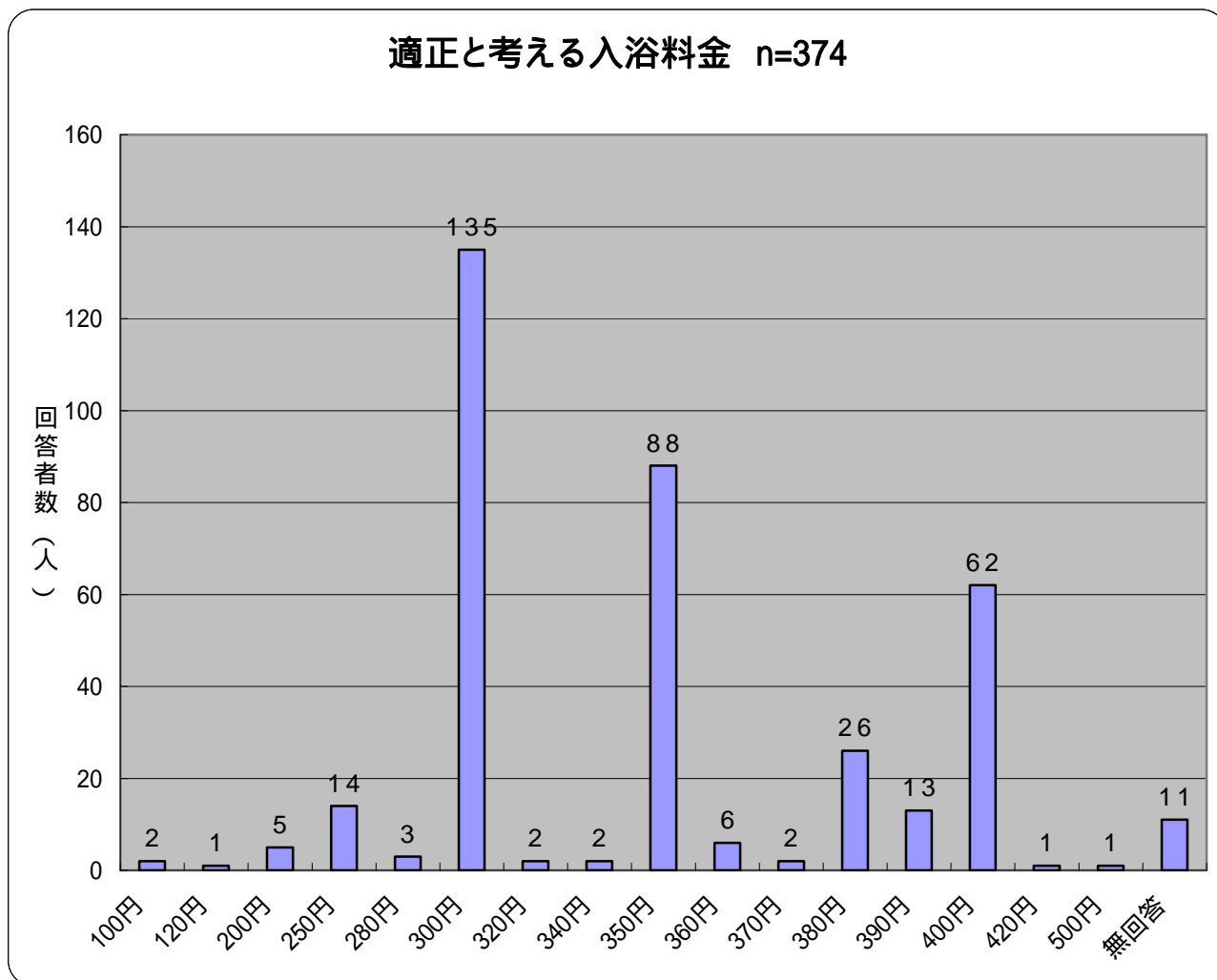


参考：入浴料金改定の経過

改定年月日	大人	中人	小人
昭和51.6.10	135 円	70 円	35 円
昭和52.6.15	155 円	80 円	40 円
昭和53.6.20	165 円	85 円	40 円
昭和54.6.28	180 円	95 円	45 円
昭和54.11.26	190 円	95 円	45 円
昭和55.6.9	220 円	100 円	50 円
昭和56.6.22	230 円	110 円	60 円
昭和57.6.15	240 円	120 円	60 円
昭和59.8.11	250 円	120 円	60 円
昭和61.7.25	260 円	120 円	60 円
平成元.9.1	280 円	120 円	60 円
平成3.8.1	300 円	140 円	70 円
平成5.8.1	320 円	140 円	70 円
平成7.9.1	340 円	140 円	70 円
平成9.8.1	360 円	140 円	70 円
平成13.9.1	370 円	140 円	70 円
平成17.10.1	380 円	140 円	70 円
平成18.4.15	390 円	140 円	70 円
平成20.8.11	420 円	140 円	70 円

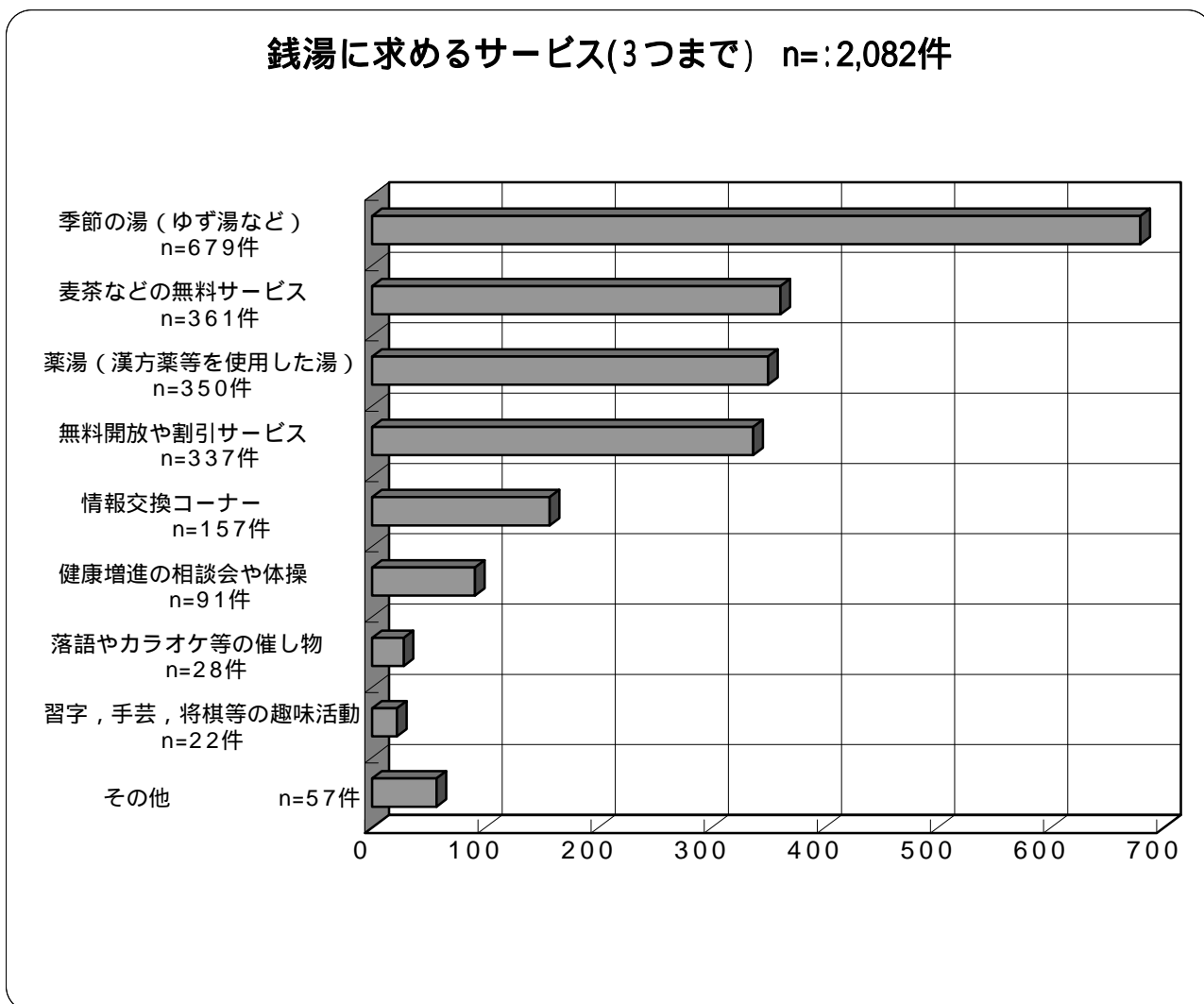
9 適正と考える入浴料金（問14）

また、問13において、「高い」と回答した374人の利用者に対して「いくらなら良いと思うか」をたずねたところ、「300円」が135人、次いで「350円」が88人、「400円」が62人、「380円」が26人などとなっている。



10 銭湯に求めるサービス（問15）【3つまで選択】

銭湯に求めるサービスについてたずねたところ、「季節の湯（ゆず湯など）」が679件と最も多く、次いで「麦茶などの無料サービス」361件、「薬湯（漢方薬等を使用した湯）」350件、「無料開放や割引サービス」337件などとなっている。



また、「その他」57件の回答は以下のようにになっている。

回答内容(要旨)	回答数
特に必要ない	21
衛生的であること	9
休憩室の設置，充実（畳，広さ，仕切り等）	4
銭湯共通券点スタンプカード	3
営業時間の延長	2
その他	18
計	57

11 銭湯に対する意見・要望について（問16）

銭湯に対する意見・要望については、235件の回答があり、その主な内容についてみると、「公衆浴場の存続希望」が57件でもっとも多く、次いで「利用者のマナーについて」30件、「施設・設備について」17件、「入浴料金について」、「営業時間について」16件など多種多様な回答が寄せられている。

回答内容(要旨)	回答数
公衆浴場の存続希望	57
利用者のマナーについて	30
施設・設備について	17
入浴料金について	16
営業時間について	16
浴槽温度について	9
衛生管理について	7
接客態度について	4
公的支援・指導について	2
その他	77
計	235

資料編

1 地区区分

地区区分	町名
西部地区	入舟町, 船見町, 弥生町, 弁天町, 大町, 末広町, 元町, 青柳町, 谷地頭町, 住吉町, 宝来町, 東川町, 豊川町, 大手町, 栄町, 旭町, 東雲町, 大森町, 松風町, 若松町
中央部地区	千歳町, 新川町, 上新川町, 海岸町, 大縄町, 松川町, 万代町, 亀田町, 大川町, 田家町, 白鳥町, 八幡町, 宮前町, 中島町, 千代台町, 堀川町, 高盛町, 宇賀浦町, 日乃出町, 的場町, 時任町, 杉並町, 本町, 梁川町, 五稜郭町, 柳町, 松陰町, 人見町, 金堀町, 乃木町, 柏木町
東央部地区	川原町, 深堀町, 駒場町, 広野町, 湯浜町, 湯川町1丁目, 湯川町2丁目, 湯川町3丁目, 戸倉町, 榎本町, 花園町, 日吉町1丁目, 日吉町2丁目, 日吉町3丁目, 日吉町4丁目, 上野町, 高丘町, 滝沢町, 見晴町, 鈴蘭丘町, 上湯川町, 銅山町, 旭岡町, 西旭岡町1丁目, 西旭岡町2丁目, 西旭岡町3丁目, 鱒川町, 寅沢町, 三森町, 紅葉山町, 庵原町, 亀尾町, 米原町, 東畑町, 鉄山町, 蛾眉野町, 根崎町, 高松町, 志海苔町, 瀬戸川町, 赤坂町, 銭亀町, 中野町, 新湊町, 石倉町, 古川町, 豊原町, 石崎町, 鶴野町, 白石町
北東部地区	富岡町1丁目, 富岡町2丁目, 富岡町3丁目, 中道1丁目, 中道2丁目, 山の手1丁目, 山の手2丁目, 山の手3丁目, 本通1丁目, 本通2丁目, 本通3丁目, 本通4丁目, 鍛冶1丁目, 鍛冶2丁目, 陣川町, 陣川1丁目, 陣川2丁目, 神山町, 神山1丁目, 神山2丁目, 神山3丁目, 東山町, 東山1丁目, 東山2丁目, 東山3丁目, 美原1丁目, 美原2丁目, 美原3丁目, 美原4丁目, 美原5丁目, 赤川町, 赤川1丁目, 亀田中野町, 北美原1丁目, 北美原2丁目, 北美原3丁目, 水元町, 亀田大森町, 石川町, 昭和1丁目, 昭和2丁目, 昭和3丁目, 昭和4丁目, 亀田本町
北部地区	浅野町, 吉川町, 北浜町, 港町1丁目, 港町2丁目, 港町3丁目, 追分町, 桔梗町, 桔梗1丁目, 桔梗2丁目, 桔梗3丁目, 桔梗4丁目, 桔梗5丁目, 西桔梗町, 昭和町, 亀田港町
東部地区	小安町, 小安山町, 釜谷町, 汐首町, 瀬田来町, 弁才町, 泊町, 館町, 浜町, 新二見町, 原木町, 丸山町, 日浦町, 吉畑町, 豊浦町, 大潤町, 中浜町, 女那川町, 川上町, 日和山町, 高岱町, 日ノ浜町, 古武井町, 恵山町, 柏野町, 御崎町, 恵山岬町, 元村町, 富浦町, 島泊町, 新恵山町, 絵紙山町, 新八幡町, 新浜町, 銚子町, 古部町, 木直町, 尾札部町, 川汲町, 安浦町, 白尻町, 豊崎町, 大船町, 双見町, 岩戸町



2 調査票

公衆浴場（銭湯）の利用に関するアンケート調査ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より函館市の保健衛生行政に対しまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、保健衛生上必要不可欠な施設として市内の銭湯の確保に努めておりますが、自家風呂普及率の向上などから、その数は減少の一途をたどっております。

このため、市立函館保健所では、銭湯確保の取り組みに役立てるため、「函館浴場協同組合」加入の公衆浴場にご協力をいただき、銭湯を利用されている市民の方を対象としたアンケート調査を実施することといたしました。

お急ぎのところご面倒をおかけしますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果は統計データとしてのみ利用し、調査目的以外に使用することはありません。

平成21年8月 市立函館保健所



問1 あなたの年齢について該当するものに をつけてください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上

問2 あなたの性別について該当するものに をつけてください。

1. 男 2. 女

問3 あなたの世帯はあなたを含めて何人ですか？ 該当するものに をつけてください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

問4 あなたがお住まいの住居形態について該当するものに をつけてください。

1. 一戸建て（持ち家） 2. 一戸建て（借家） 3. アパート、公営住宅等
4. 分譲マンション 5. 社宅、官舎、寮 6. その他

- 問5 あなたがお住まいの町名を記入してください。
 ()町 ()丁目
- 問6 あなたのご自宅(寮, 下宿, 社宅などを含む)にはお風呂がありますか?
 該当するものに をつけてください。
 1. ある 2. ない
- 問7 本日はどのような交通手段で来場されましたか? 該当するものに をつけてください。
 1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. バス・電車
 5. タクシー 6. その他()
- 問8 ご自宅から銭湯までの所要時間について該当するものに をつけてください。
 1. 10分以内 2. 30分以内 3. 1時間以内 4. 1時間以上
- 問9 銭湯の利用頻度について該当するものに をつけてください。
 1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 年に数回
- 問10 アンケートにご記入いただいている, いま現在の時間帯について該当するものに をつけてください。
 1. 午前中 2. 正午から午後3時まで
 3. 午後3時から午後6時まで 4. 午後6時から午後9時まで
 5. 午後9時以降
- 問11 銭湯を利用する主な目的は何ですか? 該当するものすべてに をつけてください。
 1. 日常的な入浴のため 2. 心身のリラックスや癒し効果のため
 3. 健康増進のため 4. 知人・近隣の人々との交流のため
 5. 銭湯独特の雰囲気の魅力があるため 6. 家族サービスのため
 7. 手足を伸ばして入浴できるため 8. 自宅の風呂が寒いため
 9. 銭湯が利用しやすいため 10. その他()

《 裏面に続きます 》

問16 銭湯に対するご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入後のアンケート用紙は、場内の回収箱へお入れください。

市立函館保健所生活衛生課環境衛生担当

〒040-0001 函館市五稜郭町23番1号 函館市総合保健センター3階

TEL 0138(32)1521 FAX 0138(32)1505

函館浴場協同組合加入浴場（順不同）

桐の湯，永寿湯温泉，根崎湯，昭和湯，港湯，大正湯，亀田温泉，
若松湯，白山湯（弁天町），大黒湯，弥生湯，白山湯（栄町），大東湯，
新川湯，日の出湯，にしき温泉，花園温泉，本通湯，千代の湯，
豊作湯，桜成浴場センター，山内温泉，大盛湯，日乃出湯，松聖湯，
菊乃湯，鍛冶温泉，陣川温泉，北美原温泉，ゆたか湯（以上30浴場）

【 湯 】